

「私」を知ろうものなら、一ダースのハンカチーフを持っていくといい。一衣帯水の隣国には、原始の苦難を堪えながら生きなければならない人々がいる。彼らの姿、彼らの心、彼らの苦勞、彼らの夢、彼らの愛憎物語……。

小さな銀幕は、異文化を覗く「目」になり得るのです。覗いて、驚いて、知って、理解はきっとそれから始まるのでしょう。そして「日中友好」も、です。

楊逸

作家・日本大学芸術学部教授

年を追うごとにその存在感を増していく中国。いまや世界一の大国アメリカと肩を並べるほどの勢いを持つ隣国が、いったいどんな思想を持ち、何を見つめているのか。専門家の解説を聞くのもいいが、たまには映画から学びを得るというのも悪くないように思う。

乙武洋匡

作家

学生時代、友人とドキュメンタリーを見る会を開いていました。物事の裏側を知ったかのような優越感をくれたのも、その「知ったつもり」に冷水をかけてくれたのもドキュメンタリーでした。強烈な事実も、あくまで物事の一面面。ならばなるだけ多くの側面を描えようと思い、希少作品を幅広く揃えてくれる日芸映画祭を訪れていました。視野を広げ、自分の意見を持つきっかけとして価値あるこの映画祭が、今年も開催されることに感謝いたします。

伊沢拓司

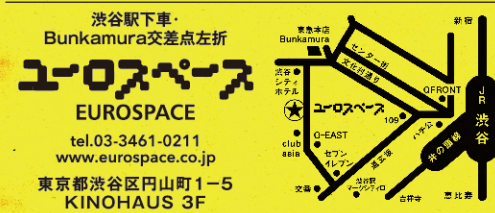
(株)QuizKnock代表・クイズプレイヤー

SCHEDULE

★上映後トーク

12日 (土)	10:30 未完の対局 (133分) ★土川勉さん SKIPシティ国際Dシネマ 映画祭ディレクター	13:30 湾生回家 (111分) ★竹中信子さん 湾生出演者	16:00 香港の夜 (118分) ★田島良一 日本大学芸術学部 映画学科教授	18:45 選挙に出たい (78分) ★李小牧さん 主演、作家
13日 (日)	10:00 ジョン・ラーベ ～南京のシンドラー～ (129分)	12:40 上海-支那事変後方記録- 戦ふ兵隊 (143分) ★阿部隆さん 日本ドキュメントフィルム代 表・プロデューサー	15:50 独立愚連隊 (108分) ★岡本みね子さん 映画監督、 映画プロデューサー	18:25 蟻の兵隊 (101分) ★池谷薫監督
14日 (月)	10:30 未完の対局 (133分)	13:20 珈琲時光 (103分)	15:30 湾生回家 (111分)	18:00 乱世備忘 僕らの雨傘運動 (128分) ★伯川星矢さん フリーライター、 通訳・翻訳者
15日 (火)	10:00 ジョン・ラーベ ～南京のシンドラー～ (129分)	12:50 愛について、東京 (113分)	15:20 イップ・マン 序章 (108分)	17:50 天安門、恋人たち (140分) ★荒井晴彦さん 脚本家、映画監督
16日 (水)	10:15 香港の夜 (118分)	12:45 選挙に出たい (78分)	14:35 上海-支那事変後方記録- 戦ふ兵隊 (143分)	17:40 ラストエンペラー (163分) 前説 古賀太 日本大学芸術学部映画学科 教授
17日 (木)	10:30 独立愚連隊 (108分)	12:50 乱世備忘 僕らの雨傘運動 (128分)	15:30 天安門、恋人たち (140分)	18:20 愛について、東京 (113分) ★柳町光男監督(予定)
18日 (金)	10:30 ラストエンペラー (163分)	13:50 蟻の兵隊 (101分)	16:05 イップ・マン 序章 (108分)	18:40 珈琲時光 (103分)

2020
12.12^土 - 12.18^金



前売り券 1回券 (一般・学生ともに) ¥900 3回券 (一般・学生ともに) ¥2,100

当日券 1回券 一般 ¥1,300 / 学生・会員・シニア ¥1,100 3回券 ¥2,850 ※すべて税込

各回入替制・全席指定席

●開場はそれぞれ上映開始10～15分前です。 ●各曜日最初の上映開始30分前より、その日の座席指定券と引き替え/当日券の販売を開始します。 ●劇場窓口では3日前から座席指定券が購入できます。 ●ユーロスペース劇場HPでは3日前～各回開始1時間前まで座席指定券が購入できます(各種クレジットカードのみ。詳しくはユーロスペース劇場HPをご確認ください)。 ●オンライン予約は自動発券機で座席指定券をお受け取りください。上映時間直前は混雑が予想されます。お早めにお引き換えください。 ●前売券は3日前より劇場窓口にて座席指定券とお引き換えできます。オンラインでのご利用はできません。 ●やむを得ない事情により作品、上映素材、及び上映時間に変更になる場合がございます。 ●製作から長い月日が経っているため、お見苦しい箇所やお聞き苦しい箇所がございます。 ●トークショーのある上映会は予告編の上映はございません。 ●トークショーは変更・中止となる場合がございます。

中国を知る 映画祭

現役日藝生による

近くて遠い中国、
私たちは何を考える

主催：日本大学芸術学部映画学科映像表現・理論コース3年「映画ビジネスⅣ」ゼミ ユーロスペース
上映協力：アップリンク / 太秦 / きろくびと / 国立映画アーカイブ / 松竹 / 染野企業映画工作室 / 東宝 / 東北新社 / 南京・史実を守る映画祭実行委員会 / 日本ドキュメントフィルム / 柳町光男 / 蓮ユニバース / Beta Film
Twitter https://twitter.com/nua_eigasai2020
facebook <https://www.facebook.com/nichigei.eigasai/>
instagram <https://www.instagram.com/nichigei.eigasai/>

ユーロスペース EUROSPACE

2020.
12.12 - 12.18 nichigei-eigasai.com

今年で10回目となる日藝生企画・運営の映画祭。

2020年、武漢から始まった新型コロナウイルスの感染拡大、香港の国家安全維持法の施行など、中国が世界各地でニュースにならない日はなかった。また、南シナ海の領有権をめぐる問題や米中関係の悪化、尖閣諸島問題など、日本の周辺で起こる問題にどれも改善の兆しはなく、迫り来る中国の脅威に、私たちは漠然と恐怖を抱いていた。

私たちは、中国について、日中関係について、あまりにも何も知らない。恐怖に立ち向かうには、まずは「知る」ことが必要だ。映画を学ぶ学生として、映画を通して中国や日中関係を見つめ直す、この映画祭を企画した。

映画には、様々な中国の姿が映し出される。日中戦争の実態を映した亀井文夫の当時の記録映画2作や、南京事件をドイツの視点から描いたフロリアン・ガレンベルガー『ジョン・ラーベ～南京のシンドラー～』(2009)、佐藤純彌、段吉順共同監督の日中合作映画『未完の対局』(1982)といった日中戦争を扱った映画を通して、目を背けてはいけない過去の侵略戦争の問題に向き合う。

中国を「知る」ために欠かせないのが香港や台湾だ。日本統治時代の台湾の残滓を映し出したホァン・ミンチェン『湾生回家』(2015)、香港の雨傘運動に迫った陳梓恒『乱世備忘 僕らの雨傘運動』(2016)などを上映する。他にも、中華圏の監督が日本で製作した作品や、在日中国人にスポットを当てた作品など、様々な切り口を通して、中国から見た日本の姿を浮き彫りにする。

隣国であるにも関わらず、私たちにとって中国は遠い存在であった。本映画祭で上映する作品を通して、観客の方々と共に、中国をより近い存在として感じたい。それが中国への理解を深める上で、第一歩になると信じている。

1938

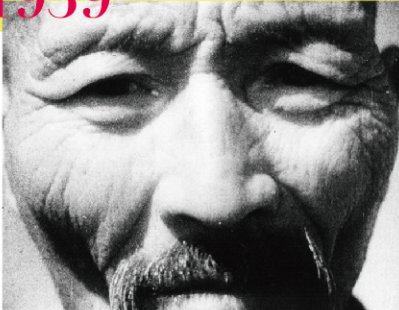


上海 一支那事变後方記録ー

亀井文夫 | 日本 | 16mm | 77分 | 配給: 東宝映画
所蔵: 日本ドキュメントフィルム

日中戦争の実状をありありと映し出す、亀井文夫による当時の記録映画二作品の併映。『支那事变後方記録』のサブタイトルを持つ『上海』は、盧溝橋事件や上海租界などの歴史的事象に基づき、いかにして日中戦争が起こったかを辿る。『上海』同様、軍部の後援で製作されたにも関わらず、検閲により公開禁止処分を受けた『戦ふ兵隊』は、日中戦争下の中国人や日本兵を等身大の視点で見つめる。戦意高揚を目的として作られた両作だが、亀井文夫の秘めたる思いが写実的なカメラと巧みな編集によって表出する。

1939



戦ふ兵隊

亀井文夫 | 日本 | 16mm | 66分 | 配給: 東宝映画
所蔵: 日本ドキュメントフィルム

1987



ラストエンペラー

清朝最後の皇帝溥儀の波乱に満ちた生涯を描いた歴史的大作。1950年、太平洋戦争の終結と満洲国の崩壊により、共産主義国家として誕生した中華人民共和国の都市、ハルビン。ソ連での拘留を解かれた中国人戦犯でごった返す駅の中に、ひとり列から離れ、自殺を試みる男の姿があった。薄れゆく意識の中で、日本と中国に翻弄された人生が脳裏に蘇る。監督・脚本のベルナルド・ベルトルッチと名手ヴィットリオ・ストラーロの卓越したカメラが格調高い作品世界を構築する。米アカデミー賞9部門受賞。

ベルナルド・ベルトルッチ | イタリア・イギリス・中国 | DCP | 163分 | 配給: 東北新社

2008



イップ・マン 序章

ブルース・リーの唯一の師匠として知られる詠春拳の達人、イップ・マンの激動の生涯を描いたシリーズの記念すべき第1作目。舞台は1930年代の中国広東省。佛山で最強と謳われるイップ・マンの元には挑戦者が絶えず訪れ、優れた実力と人格から尊敬を集めていた。ところが日中戦争の勃発により街が日本軍に占領され、平和な日常が一変。空手で数々の武術家を破る日本軍将校・三浦はイップ・マンの噂を聞きつけて……。主演は世界的アクションスターのドニー・イェン。第28回香港電影金像奨最優秀作品賞受賞。

ウィルソン・イップ | 香港・中国 | 35mm | 108分 | 配給: 栄野企業映画工作室

1992



愛について、東京

80年代から90年代にかけて日本映画の先頭を走った柳町光男監督が、国際化が進む東京を舞台に、外国人や留学生の存在を正面から描いた作品。と場でアルバイトをしながら日本語学校に通う一方、いかさまパチンコで金を儲ける中国人留学生・方純(ウー・シャオトン)、日本生まれの中国人少女・アイリン(岡坂[現・黒沢]あすか)、中年のパチンコ店長・遠藤(藤岡弘[現・藤岡弘、])の妙な三角関係を描く。1992年ヴェネツィア国際映画祭ほか各国映画祭招待。1993年度キネマ旬報ベストテン第7位。

柳町光男 | 日本 | 35mm | 113分 | 配給: バイオニアLDC、キネマ旬報社 | 所蔵: 国立映画アーカイブ

2009



ジョン・ラーベ ～南京のシンドラー～

内外で今も議論を呼ぶ南京事件を、ドイツ人監督が南京安全区国際委員長のドイツ人、ジョン・ラーベの視点から見つめ直す作品。1937年12月、日中戦争の最中、日本軍は南京へ侵攻し陥落させる。ラーベら国際委員会メンバーは人道的な方法で家をなくした中国人を救おうとするが、朝香宮(香川照之)率いる日本軍は彼らに対し厳しく迫る。ドイツ映画賞4部門、バイエルン映画賞2部門を受賞するも日本では現在上映権が終了。今回ドイツの権利元と交渉の末上映が実現した本映画祭必見の珠玉の一作。

フロリアン・ガレンベルガー | ドイツ・フランス・中国 | 35mm | Blu-ray | 129分 | 配給: 南京・史実を守る映画祭実行委員会 | Courtesy: Beta Film

1959



独立愚連隊

巨匠・岡本喜八の出世作であり、シリーズ化もされた戦争アクション映画の金字塔。舞台は戦争末期の中国・北支戦線。従軍記者と名乗る荒木(佐藤允)は、慰安婦と心としたとされる見習士官の死の真相を探るため、各隊の落ちこぼれが集まる警備隊「独立愚連隊」に潜入する。事件の背後に潜む不正を突き止めた荒木だったが、そこには敵軍が迫っていた。西部劇のタッチを取り入れ、快活な娯楽活劇として描いた岡本の演出は、戦後日本の戦争映画に新風を吹き込んだ。三船敏郎、鶴田浩二(中国の馬賊役)ら名優の怪演も必見。

岡本喜八 | 日本 | 35mm | 108分 | 配給: 東宝

2004



珈琲時光

台湾ニューシネマから世界の巨匠となった侯孝賢監督が、小津安二郎生誕100周年を記念して日本で撮影した現代版『東京物語』。神保町の古本屋店主の肇(浅野忠信)は、フリーの物書きの陽子(一青窈)を密かに思う。一方、陽子は台湾にいる恋人との間で身籠り、周りの助言に耳を貸すことなくマイペースに生きる。そんな日々の中で陽子は身近にある大切なものに気づき始めていく。日本アカデミー賞新人俳優賞を一青窈が受賞。ヴェネツィア国際映画祭コンペほか出品。釜山国際映画祭Asian Filmmaker of the Year受賞。

侯孝賢 | 日本 | 35mm | 103分 | 配給: 松竹

2015



湾生回家

「湾生」と呼ばれる日本人の台湾への想いをつづったドキュメンタリー。日本統治下の台湾で生まれ育った日本人である「湾生」の人々は、故郷である台湾を訪れ、かつて住んでいた家や友人たちとの再会を果たす。敗戦によって強制送還された彼らが抱き続けた台湾への望郷の念と、かつての思い出を辿っていく姿を記録した湾生ひとりひとりの物語。日本ではあまり知られていない日本と台湾のつながりが描かれる。2015年、台湾で最も話題になったドキュメンタリー映画であり、日本では大阪アジア映画祭2016観客賞受賞。

ホァン・ミンチェン | 台湾 | DCP | 111分 | 配給: 太秦

1961



香港の夜

宝田明が主演、香港の真珠と称される尤敏がヒロインを務め、司業子ら豪華キャストが脇を固める国境を越えた恋愛もの。宝田明演じる田中弘が、仕事で香港に行った時に出会ったのが呉麗紅(尤敏)。時代や過去に翻弄されながらも親睦を深めてゆく二人。もどかしい二人を見守る助演の司業子の演技も光る。香港の夜の街並みや観光地も華やかで目を惹かれる。敗戦から16年たった日本は、どのように香港をとらえているだろうか。当時の香港も懐かしい『香港の星』『ホルル-東京-香港』と続く、千葉泰樹監督による香港三部作の一作目(カラー作品)。

千葉泰樹 | 日本 | 35mm | 118分 | 配給: 東宝

2005



蟻の兵隊

戦争を被害と加害の両面から描き、「日本軍山西省残留問題」の真相に迫った大ヒットドキュメンタリー。今も体内に残る砲弾の破片。それは「戦後も戦った日本兵」という苦い記憶を奥村和一に突き付ける。かつて奥村が所属した部隊は、革命により戦後も中国に残留し、中国の内戦を戦った。しかし日本政府は兵士たちが志願して勝手に戦争をつづけたと見なしこの事実を黙殺する。真相を求めて中国を再訪した奥村だが、訓練として命じられた殺人の記憶がよみがえる。香港国際映画祭人道に関する優秀映画賞受賞。

池谷薫 | 日本 | 35mm | 101分 | 配給: 運ユニバース

2016



選挙に出たい

中国出身で、「歌舞伎町案内人」として有名な李小牧氏が、新宿区議会議員選挙で戦う姿を追ったドキュメンタリー。日本に帰化した中国人として、また歌舞伎町を愛する者として、独特な視点からのメッセージを道行く人々に訴えかける。浴びせかけられる罵倒や批判には一歩も引かず毅然と対応するが、政党の選挙ルールに翻弄され困惑。現状に疑問を抱いた彼はあんな大きなことを呼びかけ始める。制作当時日本在住の中国人女性監督・邢菲(ケイヒ)の初監督作品。中国出身の二人が選挙を通して見た日本の姿とは。

邢菲(ケイヒ) | 中国・日本 | DCP | 78分 | 配給: きろくびと

1982



未完の対局

国交正常化10周年記念で製作された、戦後初の本格的日中合作映画。1924年、北京で暮の名人・況易山(孫道臨)に出会った日本の棋士・松波麟作(三國連太郎)は、彼の息子である阿明(沈冠初)の才能を見込んで、弟子として日本に連れ帰る。松波の元で修行を積み、注目の若手棋士となった阿明だが、日中戦争が始まり軍部から日本への帰化を要求される。日中両国に翻弄された棋士たちを描いた大作。モントリオール世界映画祭グランプリ、日本アカデミー賞優秀作品賞、中国映画金鸡賞特別賞など多くの賞を受賞。

佐藤純彌、段吉順 | 日本・中国 | 35mm→Blu-ray | 133分 | 配給: ワコー

2006



天安門、恋人たち

カンヌ国際映画祭コンペ出品後、天安門事件を扱ったこととその過激な性描写から、ロウ・イェ監督が5年間の映画制作禁止をうけた衝撃作。1987年、学生たちの間で自由と民主化を求める声が高まる中、北京の大学で出会ったユー・ホンとチョウ・ウェイは深く愛し合う。しかし89年の天安門事件を境に、2人は離れられなくなってしまふ。激動の20世紀後半の中国を生きる若者たちのリアルな姿を、恋愛を通して痛切に描く。監督自身も実際に天安門事件を体験。中国では現在も上映が禁止。

ロウ・イェ | 中国・フランス | 35mm | 140分 | 配給: ダゲレオ出版、イメージフォーラム・フィルム・シリーズ→アップリンク

2016



乱世備忘 僕らの雨傘運動

雨傘運動に参加し、青春を香港の未来へと捧げた若者たちの79日間の戦いを描く社会派群像劇ドキュメンタリー。2014年、香港は熱気に包まれた。民主的な行政長官選出を求め、多くの市民が立ち上がった。催涙弾、そして香港当局からの不当な弾圧から身を守る盾となった雨傘を手に、若者たちは希望を胸に戦う。警察とデモ隊が衝突する緊迫した最前線。親中派から浴びせられる暴言。香港の“今”を、圧倒的リアリティで描く。山形国際ドキュメンタリー映画祭小川伸介賞ほか受賞。現在も注目を集める香港を知るための一作。

陳梓恒 | 香港 | Blu-ray | 128分 | 配給: 太秦